

国際化学肥料ニュース (2014年1月)

肥料業界の2014年1月動態

- * ベラルーシ通信社の報道によれば、2013年1～10月ベラルーシの加里肥料販売量が9.3%減の293.3万トン（純K₂O換算、以下同）、販売価格が15%安い622ドル/トンであった。2013年の加里肥料売上高が21.5億ドル、2012年の27億ドルより20.4%減少すると予測される。

但し、加里肥料市況の回復を見込んで、2014年1月の加里肥料販売量が50万トン、前年の22.15万トンより倍増させる計画である。なお、2013年に生産能力24万トンの化成肥料工場を完成したことにより、塩化加里だけではなく、NPK化成肥料も輸出対象となる。

- * 中国と国際加里大手メーカーとの2014年上期の塩化加里総括輸入契約に関する商談が暗礁に乗り上げた様子。カナダCanpotexとロシアUralkaliはCFR320ドル/トンを下限にして、CFR330ドル/トンを提示したことに対して、中国側はCFR300ドル/トン以下に値下げすべきと主張し、折り合いがつかない。新年休暇を終え、商談は1月15日から再開する。なお、昨年12月に締結した日本とカナダCanpotexとの2014年上期の塩化加里契約はCFR380ドル/トンである。

- * カナダPotashCorp社はアメリカのトウモロコシ栽培地域に供給する塩化加里の値下げを発表した。K₂O 60%粒状赤塩化は384ドル/トン、K₂O 62%粒状白塩化は392ドル/トン。価格の有効期間は1月10日から3月末日である。

- * 中国税関の統計によれば、2013年1～11月の加里肥料輸入量が542.32万トン、昨年同期より11.28%減少した。輸入先の内訳はロシアから203.23万トン、カナダから131万トン、ベラルーシから76.82万トン、イスラエルから70.1万トン、ドイツから27.54万トン、ヨルダンから24.84万トン、チリから8.77万トンであった。

- * アメリカ肥料研究所(TFI)の最新データによれば、2013年北米の塩化加里生産量、輸出货量と地域内販売量はすべて2012年より増加した。2013年北米地域の塩化加里生

産量が 1762 万トン（137 万トン増）、輸出量が 960 万トン（158 万トン増）、地域内販売量が 790 万トン（59 万トン増）であった。なお、2013 年 12 月の塩化加里生産量 123.1 万トン、輸出量 68.3 万トン、地域内販売量 46.4 万トンであった。

また、12 月のりん安生産量が昨年同期より 22%減、在庫量は逆に 4%増となっている。

- * インド政府肥料省は尿素補助金の増額を計画する。インドルビーの為替レートが下落したことにより、輸入尿素と国内尿素生産コストの上昇で、尿素販売価格が上昇傾向である。350 ルビー（5.63 ドル）/トンの補助金増額を用意し、農家への小売価格を 5360 ルビー（約 86.2 ドル）/トンを超えないように抑える。

インド政府は 2013～2014 年度に化学肥料の補助金として 7058.5 億ルビー（約 113.5 億ドル）の予算を付けてあるが、インド肥料協会は、さらに 4000 億ルビー（約 64.3 億ドル）の追加補助金が必要であると表明した。

- * 1 月 20 日、中国とロシア Uralkali 社との間に 2014 年上半期の塩化加里輸入契約を締結した。1～6 月に CFR 中国港 305 ドル/トンの価格で 70 万トン塩化加里を輸入する。この価格は昨年上期より 95 ドル/トン、昨年同期より 65 ドル/トン安くなる。

その影響を受け、他の加里メーカーも立て続け中国側と塩化加里の輸入契約を締結した。1 月 24 日、中国とカナダ Canpotex 社との間に 2014 年上半期の 70 万トン塩化加里の輸入契約、1 月 27 日、中国とヨルダン APC 社との間に 2014 年上半期 30 万トン塩化加里の輸入契約を締結した。CFR 価格はすべて 305 ドル/トンである。

- * 中国政府国家統計局の最新データによれば、2013 年中国の化学肥料生産量は 2012 年より 4.89%増の 7153.7 万トン（純量に換算、以下同）、初めて 7000 万トンを突破した。

化学肥料生産量の前 5 位は湖北省（1186.7 万トン）、山東省（826.3 万トン）、河南省（535.9 万トン）、貴州省（511.7 万トン）、山西省（446.1 万トン）。

加里肥料の増加が一番多い。2013 年加里肥料生産量が 593.02 万トン、前年度より 16.3%増。窒素肥料生産量 4927.46 万トン、前年度より 5.87%増。りん酸系肥料生産量 1632.87 万トン、前年度より 1.37%減であった。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * トクルメニスタン新聞の報道によれば、三井造船とトルコのルネッサンス社とコンソーシアムを組み、中央アジア国営化学公社から受注した生産能力 50 万トン/年の硫酸プラントの建設が正式に開始した。工事費は約 2 億ドル、工期が 33 ヶ月。生産する硫酸はりん酸肥料の生産に供する予定。

その他

- * ロシア新聞社 1 月 8 日の報道によれば、2013 年 12 月 17 日、ウクライナとロシアとの間に天然ガスの輸入価格が 30% 値下げ、268.6 ドル/km³ にする合意を受け、ウクライナが 1 月からヨーロッパから天然ガスの輸入を完全に止め、全量ロシアからの供給に切り替えることを決定した。2013 年ウクライナがヨーロッパから 19.77 億 m³ 天然ガスを輸入した。

これを受け、天然ガス供給不足により停止している NF 社の Cherkassy 尿素工場が生産再開し、新たに毎月 7 万トンの尿素を輸出することができる。

- * 住友商事が南米チリに Summit Agro Chile SpA という農薬販売子会社を設立し、除草剤や殺虫剤・殺菌剤、植物生長調節剤を販売する。これは住友商事がブラジル、アルゼンチンに続く 3 ヶ所目の農薬販売会社である。2014 年 1 月 1 日から正式に営業する。
チリの農薬市場規模は 2.1 億ドル、その半分が果物（ワイン用ブドウを含む）の生産に使用する。生産した果物とワインの大半は輸出に供する。

- * ロシア富豪 Suleiman Kerimov 氏が持っていた Uralkali 社の 19.99% 株式がロシア富豪 Mikhail Prokhorov 氏傘下の Onexim グループに譲渡した。また、Onexim グループがほかに 5.34% の株式を追加取得し、最終的に 21.75% の株式を保有する計画である。
これに伴い、Uralkali 社の CEO Vladislav baumgertner 氏が 12 月 23 日に退任し、後継者として Dmitry Osipov 氏が取締役会に指名された。